

2017年12月24日（日）メッセージアウトライン 「平和の君の誕生」

聖書箇所：ルカ2：8～14

タイトル：「平和の君の誕生」

テーマ：2千年以上前、ベツレヘムの羊飼いたちは、主の使いから救い主（キリスト）の誕生の知らせを聞き、さらに御使いたちと天の軍勢の賛美を聞きました。「天に栄光、地に平和」と謳われたとおり、この時、誕生されたイエス・キリストは「平和の君」として来られ、その使命を全うされます。

平和の君、イエス・キリストが与えようとした平和とは、何であったのか。当時の人々、さらに現代の私たちが考えている平和と同じなのか、違うのか。クリスマスとは「平和の君」のご降誕を意味しますが、平和（ヘブル語でシャローム）の視点から、クリスマスの意味を考え、共に主のご降誕を祝いましょう。

1. 文脈の確認

- ① 「平和の君の誕生」は、イザヤ書9：6の預言の成就である
- ② バプテスマのヨハネの父ザカリヤの賛美は、平和をもたらすお方の誕生を待ち望む言葉で締めくくられている。（ルカ1：79——イザヤ9：1の約束の成就）
「日の出がいと高き所からわれらを訪れ、暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、われらの足を平和の道に導く。」 圧政に悩む者たちの解放（シャロームの持つ意味）
- ③ 羊飼いたちが聞いた、キリストご降誕の知らせと御使いたちの賛美

2. 救い主誕生の知らせ

- ① 救い主（キリスト）の誕生と、神の栄光と、平和は大いに関係している
- ② 御子イエスは「布にくるまって飼葉おけに寝ておられる」—誰かに愛され誰かに世話をしてもらう以外に生きる道はない者の姿で、お生まれになった。

3. なぜ「平和の君」が地上に人として来られたのか？

- ① 地上に平和がなくなっていたから（その理由）
- ② 地上に再び平和をもたらすために

4. イエスが来られた頃、人々が考えていた「平和」とは？

- ① パクスロマーナ（ローマの平和） 「パクス」（ラテン語で平和を意味する）
- ② 聖書が伝えようとしていた平和 旧約では「シャローム」（ヘブル語）、新約では「エイレーネー」（ギリシア語）
* シャロームの持つ幅広い意味（エイレーネーも同様の意味を持っている）

5. 神の御子イエス・キリスト、「平和の君」が実現しようとした「平和」とは？

(愛と赦しによる関係の回復)

- ①神との関係の回復
- ②人間同士の関係の回復
- ③神がつくられたすべて（自然も含めて）のものとの関係の回復
- ④その方法
- ⑤小さな物語（「赦し——新しい関係を生み出す」デビッド・アウグスバーガー著）の紹介

6. 結論

- ①真のシャロームとは、神に対して人間が反逆して失ってしまったものを再びとりもどすこと
- ②平和の君を心にお迎えした人は、クリスマスの真の意味をお伝えする。「クリスマスの本当の意味は神の愛のプレゼントであるイエス・キリストを救い主として受け取ることですよ」と。